東京学芸大学リポジトリ
Tokyo Gakugei University Repository

# 支援者が捉える発達障害児「療育」の役割：職務のやりがいとストレスに着目した内的キャリア発達の検討



| メタデータ | 言語: Japanese<br>出版者:<br>公開日: 2022-05-20<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En): developmental disorders, intervention in children with developmental disorders, career development<br>作成者: 田中, 里実, 橋本, 創一, 田口, 禎子, 堂山, 亞希, 野元, 明日香, 山口, 遼<br>メールアドレス:<br>所属: |
| --- | --- |
| URL | http://hdl.handle.net/2309/00174078 |

# 支援者が捉える発達障害児「療育」の役割
## ―― 職務のやりがいとストレスに着目した内的キャリア発達の検討 ――

田中　里実*・橋本　創一**・田口　禎子***・
堂山　亞希****・野元　明日香*****・山口　遼*

対人援助職にある者は大抵，自身の仕事に対して何らかの使命感を持っており，それは内的キャリアの一つの要素でもある。それは被援助者の利益と重なる部分も大きい。本研究では，対人援助職の一つである発達障害児療育の支援者が，自身の職務に対してどのような使命感を持っているかをキャリア発達の視点から検討した。287人の療育者に質問紙調査を実施し，「療育は子どもの発達および保護者にどのような役割を果たすと考えていますか。」という質問へ自由記述で回答を求めた。得られた回答について，“KH Coder”を用いて計量テキスト分析を行った。その結果，支援者が考える子どもの発達に果たす療育の役割は大きく8つの要素があり，(1) 自己肯定感の育成，(2) 社会生活の力と意欲の育成，(3) 感情の表現及び制御の力の育成，(4) 遊びや経験の多様化，(5) 自立に向けての発達に応じた関わり，(6) 特性に合った対応の理解，(7) 安心できる環境での発達の土台作り，(8) 丁寧な関わりであった。また同様に保護者に果たす療育の役割は大きく7つに分けられ，(a) 保護者と一緒に考える機会，(b) 悩みや成長を共有する機会，(c) 特性に合った対応による親子関係の調整，(d) 子育て支援，(e) 子どもの姿を知る機会，(f) 保護者同士が繋がる機会，(g) 保護者の心情へのアプローチであった。今後は調査方法を再検討し，幅広く支援者を捉えていくことが求められる。

**Key words**
発達障害，療育，キャリア発達

*東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）
**東京学芸大学特別支援教育・教育臨床サポートセンター
***駒沢女子短期大学
****目白大学
*****志學館大学